

平成29年度 第33回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 乳児の入浴時のお湯の温度は () °Cくらいがよい。
 - (2) 乳児の体重は () 年で出生時の約3倍になる。
 - (3) 乳児の間食は、1日のエネルギーの () %位が目安である。
 - (4) 乳児から2, 3歳までの発育や栄養状態を評価するためにカウプ指数が用いられるが、普通判定の数値は、() である。
ア 1 イ 10~15 ウ 15~18 エ 30~35
オ 35 カ 40
- 2 次の文で正しいものには○, 誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) 生後5~6か月頃になると乳汁だけでは鉄やたんぱく質が不足するため、離乳食を始めるとよい。
 - (2) 乳児の睡眠環境は、熟睡できるように、人があまり出入りしないような静かな場所がよい。
 - (3) 新生児は、出生体重により分類され、2500g未満の場合は低出生体重児になる。
 - (4) 乳児の身体計測は、身長、体重の2箇所を測定し、発達状態をみる。
- 3 次の文を読んで、関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 乳歯は、生後6か月頃に () から生え始める。
 - (2) 出生後2~3日頃までの乳児は、() とよばれる黒の粘りのある無臭の便が出る。
ア 下の中切歯 イ 上の中切歯 ウ 乳便 エ 胎便
オ 移行便

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否	
-----	--	-------	--

平成29年度 第34回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 出生時の脳の重さは、() g程度である。
- (2) 調製粉乳を作る時、出来上がりの温度は()℃くらいが望ましい。
- (3) 幼児の発達の目安として、前ボタンをかけることができるのは()歳くらいである。
- (4) 出生時およそ50cmの身長が、()年で約1.5倍になる。

ア 1 イ 4 ウ 5 エ 40 オ 70 カ 350

2 次の文で正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 新生児と乳児の呼吸は腹式で、幼児期になると胸式呼吸になる。
- (2) 布おむつの場合、股関節脱臼を防ぐために股の部分の厚くする。
- (3) 乳児は新陳代謝が盛んで汗をかきやすいので、薄着を心がける。
- (4) 乳児の顔を清拭するときは、最初に口の回りから清拭するとよい。

3 次の文を読んで、関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。

胎児は(1), 肝臓が機能していない。その代わりに、胎盤から酸素を取り入れるため、卵円孔、動脈管、(2)とよばれる管があるが、生後まもなく閉鎖される。

ア 大動脈管 イ 肺 ウ すい臓 エ 静脈管

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

平成30年度 第35回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文を読んで、() に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 腸の長さは成人よりも子どものほうが長く、幼児では身長() 倍の長さである。
- (2) 乳児のからだの水分比率は、平均() %である。
- (3) 伝い歩きから、支えて歩くことができるようになるのは() か月頃からである。
- (4) 衣服のボタンを掛けられるようになるのは、() 歳頃からできるようになる。
- ア 3 イ 4 ウ 6 エ 12 オ 70 カ 80
- 2 次の文で正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) 男児の布おむつの当て方は、前を厚くしておむつカバーと一緒に当てる。
- (2) 混合栄養とは、いろいろな種類の粉ミルクを混ぜて調乳することである。
- (3) 外気浴をさせるときは、紫外線の強い10～14時を避けてすることが望ましい。
- (4) 乳幼児の寝具で、敷布団やシーツは肌触りがよく柔らかいものが多い。
- 3 次の文を読んで関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 頭部を支える首の動き、足の動き等、全身を使った移動や体の平衡を保つための運動。
- (2) 親など特定の人と子どもの情緒的な結びつきのことで、生後6～7か月経ってから形成されるもの。
- ア 微細運動 イ 粗大運動 ウ スキンシップ エ アタッチメント

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

平成30年度 第36回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文を読んで、() に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 親指と人差し指で、つかむことができるのは() か月頃である。
- (2) 母子健康手帳は妊娠中から子どもが() 歳までの発育状況を記録するものである。
- (3) 生理的黄疸は、一般的に生後() 週間で消失する。
- (4) 乳歯は生後6か月頃から生え始め、3歳までに() 本生えそろう。
ア 1 イ 6 ウ 10 エ 18 オ 20
- 2 次の文で正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) 乳児の間食は、運動量も増えてくるので、味がしっかりとしたもので、脂肪分を十分に含んだものがよい。
- (2) 自律授乳とは、乳児がミルクを欲しがるときに、欲しいだけ与えることである。
- (3) 新生児の検温は、一般的にわきの下で測定するが、肛門でも調べられる。
- (4) 出産後3～4日間、哺乳量よりも排泄や発汗などによる水分消失が上回るため体重が減少する。
- 3 次の文を読んで関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 乳幼児が抱きついたり、後を追ったりするなど親に接触しようとする行動を() という。
- (2) 新生児の頭蓋骨は、5つの部分に分かれ、泉門とよばれる隙間が開いている。後方の三角形の泉門を() という。
ア スキンシップ イ 愛着行動 ウ 小泉門 エ 大泉門

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

2019年度 第37回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文を読んで、空欄に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 歯ぐきでつぶせるかたさの離乳食を与える時期は、おおよそ()か月頃である。
- (2) 手のひらと指を使って、熊手のようにつかむことができるようになるのは()か月頃である。
- (3) 出生後()日頃の乳児は、黒い粘りのある胎便がでる。
- (4) 乳歯が生え始めるのは、生後()か月頃からである。
- ア 2～3 イ 6 ウ 7～8 エ 9～11
- 2 次の文で正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) 顔の清拭で目の部分は、目頭から目尻に向けて拭く。
- (2) 布おむつの当て方は女児は前を厚く、男児は後ろを厚くする。
- (3) 幼児は胃が小さく、消化吸収機能が未発達なので、食事以外におやつは食べたいときに食べたいだけ与えるのが望ましい。
- 3 次の文を読んで、関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 胎盤を介して母体内の免疫が胎児に移行する母子免疫を(①)とよび、自分でつくり出す免疫を(②)とよぶ。
- (2) 日光に含まれる紫外線によって体内に(③)がつくられて骨が丈夫になる。
- ア ビタミンD イ ビタミンC ウ 受動免疫 エ 能動免疫

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	①	②	③
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否	
-----	--	-------	--

2019年度 第38回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文を読んで、空欄に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 首がすわりはじめるのは () か月頃である。
- (2) 体重が出生時の3倍になるのは () 歳頃である。
- (3) 自分でお座りができるようになるのは () か月頃からである。
- (4) 離乳の完了期のめやすは () か月頃である。

ア 1 イ 3～4 ウ 6～8 エ 12～18

2 次の文で正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 幼児の骨は、軟骨の部分にカルシウムが付着して固くなってつくられる。
- (2) おむつカバーは尿が漏れないように、しっかりと腹部を固定する。
- (3) 乳児期は午前・午後1回ずつ昼寝が必要である。

3 次の文を読んで、関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 新生児のからだを持ち上げて急にさげると、両手をさっと広げる。
- (2) 新生児の手のひらを刺激すると、強く握りしめる。
- (3) 乳幼児の発育や栄養状態を評価するために、体重と身長から、やせや肥満などを計算する。

ア ローレル指数 イ カウプ指数 ウ 把握反射 エ モロー反射

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------